

## 平成 27 年度 第 2 回 成田市精神保健福祉推進協議会 会議録

1 開催日時 平成 27 年 11 月 13 日（金） 午後 3 時 00 分～午後 4 時 30 分

2 開催場所 成田市花崎町 760 番地 成田市役所 503 会議室

### 3 出席者

（委員） 佐藤会長、太田委員、大根田委員、山崎委員、嶋崎委員、青木委員、  
笠松委員、佐久間委員

（委任状） 小柳委員、石田委員

（欠席） 宇野委員

（幹事） 山崎幹事、大根田幹事、星野幹事、潁川幹事、笠松幹事、佐久間幹事、  
下村幹事、宮野幹事、

（事務局） 三橋課長、谷下田係長、久保木主任主事、内田主任主事

### 4 議事（要旨）

#### ○報告第 1 号 平成 27 年度上半期事業経過報告について

事務局：心の健康 MAP をこのまま配布していいか承認お願いしたい。

委員：他の市にあり成田にはなかったので、社会資源検討部会で作成した。ピアサ  
ポートのふたりに協力してもらい行うことが出来た。

委員：コメントは事業所をお願いしたのか。

事務局：依頼してコメントをいただいた。

委員：地図が分かりやすいようで分かりにくい。

●他意見：・表紙の「心の健康 MAP」の文字を大きくした方が良い

・表紙に「成田」は入れなくてもいい

・「事業者ガイド～利用者の声～」の文字が薄い

・全体的に色を濃くした方が良い

・道がはっきりした方が良い

・相談窓口の千葉県障害者権利擁護センターには注釈をつけた方が良い

→今後再度検討して作成することとした。

#### ○議案第 1 号 平成 28 年度事業計画（案）について

【承認】

○議案第2号 成田市精神保健福祉の現状について

委員：相談件数は何度も来ているものか、新規なのか分からない。

事務局：どこで新規とするか難しい。匿名の相談もあり、その職員が初めてでも他の職員が対応している場合もある。

簡単な確認は相談として集計していない（手帳がいつできるのか、手当の振り込み日等の内容）

委員：保健所との連携はあるか。

事務局：（相談支援 実績報告の）関係機関の項目に入る。

委員：入院が必要かの相談は保健所か、市役所でも受けているのか。

事務局：市役所でも受けている。直接警察から連絡が来ることが増えた。本人の情報共有や確認をとる為連絡が入る。警察も地域住民との間にトラブルを防ぐ為にも第三者として市役所に要請がくることもある。

委員：警察も心の健康支援係を把握しているのか。

事務局：把握し連絡してきている。

委員：【議案2号6.健康相談について】健康増進課、高齢者福祉課で予約のもの忘れ相談、こころの健康相談をしているが、予約の面接をする前に必要な社会資源に繋げることはあるのか。そこで主治医意見が最善と医療機関に繋げても（結果項目の）「主治医相談」が入ってくるのか。

事務局：主治医に相談すべき事は断ることもある。本人の混乱にもなる。カウンセラーの相談は主治医の有無は関係ない。

他に主治医に直接言えない、主治医にどう自分をうまく伝えられるかという相談内容もある。

委員：全く医療機関にかかっていない人、これから医療を受けたいと言う人に分かりやすいような相談窓口になっているのか。

事務局：全く医療にかかっていない人は健康増進課にいつている。障がい者福祉課に来ることは少ないが、家族からひきこもりの相談はある。

【千葉県内市町村手当精神障がい者一覧報告】

事務局：12市町村手当なし、6市町村回答なし。

お金の給付ではなく、出かける場所があり、社会的な支援に結びつける方が良いという考えもある。

入院3ヶ月以上の方は停止になるが、その事を把握している人が少なく、退院後に話の中で分かる事が多い。返金のかたちになる前に、入院したら届出する等事務検討が必要と考えている。

委員：（家族会で）要望書として提出検討しているが、他の障害はその疾患以外の医療も医療費助成があるが、精神障がいでは他の医療の医療費助成は検討されていないのか。

事務局：医療費助成は入院助成も含まれているので、（入院費助成は）精神科の長期入院を助長することに繋がる。他医療費助成は今のところ予定はない。

委員：長期入院の方が退院して生活する為のお金の手当や補助はないか。入院中の手当や在宅手当はあるが、お金がないとって病院から出られない人が多い。生活保護でも限られた金銭で、はじめの生活費としては苦しい部分はある。

委員：条件を設けて、長期入院者への補助は意味があるのではないか。要件等あると思うので今後役所、社会資源検討部会で話し合ってもらいたい。

事務局：他の自治体で退院時の助成等情報収集をし、その結果を報告する。

※今後「成田市精神保健福祉の現状について」は報告とする。

#### ○その他

委員：（社会福祉協議会から）暮らしサポートなりたの具体的な実績が出れば報告出来る。想定のおお3割程度である。

委員：精神のケースはきいているのか。

事務局：来ている。利用まではなくても暮らしサポートを紹介することは多い。

委員：職の紹介はないので、一緒にハローワークに行き、相談等して就職までのサポートをしている。就職までの成果がなかなか出てこない。

委員：生活保護の件数はまだ減っていないか。

委員：そこまでは至っていない。状況を聞き取りしていると、生活保護が必要な場合もある。

委員：（障がい者福祉課）心の支援係は社会福祉課と連携はあるのか。

事務局：している。一緒に受診に繋げるという場合もあり、ケース相談もしている。

委員：医療観察法の実績をあげた方が良い。今実際の件数はいくつか。

事務局：入院中の人は3ケース、地域に出た方は4、5件継続的な関わりがある。今年少年院の社会復帰の相談もあり。刑務所はまだない。

委員：他の地域で比べると多いのか。

事務局：多い。指定通院医療機関があるので成田に来ることが多い。

5 傍 聴 者 なし

6 次回開催予定 平成28年7月